

令和 5 年度第 2 回栗橋公民館運営審議会開催結果

日 時 : 令和 6 年 3 月 5 日 (火) 午後 1 時 30 分～2 時 45 分

場 所 : 橋野ふれあいセンター 会議室

出席者 : 審議会委員(全 7 名出席)

川崎悦三郎、八幡和郎、遠藤朱実、小笠原春美、

川崎通、八木澤江利子、八幡裕子

事務局 まちづくり課 小池主査、浦城主任

栗橋公民館 二本松館長、三浦主査

内 容

- ・まちづくり課小池主査から各委員へ委嘱状を交付。
- ・委員 7 名全員が出席しており、釜石市立公民館規則第 10 条第 3 項に基づき会議が成立。
- ・新任期における役員選出を行い、委員長に川崎悦三郎氏、副委員長に八幡和郎氏を選任。
- ・令和 5 年度釜石市立栗橋公民館運営経過及び令和 6 年度釜石市立栗橋公民館運営計画案を協議した結果、承認された。

議事録

委員長

そば打ち体験については、栗林小学校で、今年度はそばを栽培できなくて、大豆に変更したそうですが、いかがでしたか。

委員

なかなか思ったようには収穫できなかったけれども、そばよりは取り組み易かったと感じました。収穫した大豆は豆腐に加工したり、きな粉にしました。また、タイミング的に、国語の学習ともリンクすることが出来たので良かったです。

委員長

子ども達が、豆腐やきな粉はこういう風に作るのだと体験できただけでも有意義だったと思います。

去年は気候の問題で大豆もあまりうまく育たなかったと聞いていますので、よくやったなと思います。

委員

去年は気温が暑過ぎてうまく育たずに、2 回、植え直しました。

委員長

水生生物調査は、3度順延し、最終的に中止になったとのことで、残念でした。

委員

これも昨年は暑過ぎたり、また、河川の増水が原因で実施できませんでした。

ただ、複式学級の中学年で取り組む事業となっており、昨年度は実施できましたので、2年に1回実施できれば良いのかなと思っています。

委員

和山の植樹は、自分の子どもが小さかった頃からずっと実施しているのですが、前は風害やシカ被害によって苗木が駄目になったことがあったのですが、今はどんな様子ですか。

委員

やはり、昨年度植えたどんぐりの苗を今年度確認したところ、シカに食べられている様子が見受けられました。次年度の植樹では、そのシカ被害を受けたところにもう一度植え直すか等も検討します。

例年、5月大型連休の最終日に父兄が和山に上がって、草刈りや笹の根の掘り起こしといった大変なご苦労をして頂いております。

6年生の作文を読みますと、6年間植樹をやってきて自分たちが植えた苗が大きくなっていくのが楽しみだという感想を書いている子どもが多いですし、また、海づくりへの貢献を評価して頂き、長年継続してやってきたことに対して市から表彰して頂きましたので、植樹は大事な活動だと子ども達も認識していますので、来年度も頑張ろうという気持ちでおります。

委員長

音楽コンサートは復興関係の財源で実施しているようですが、今後の見通しはどのようなのでしょうか。

公民館長

公益財団法人が補助金を活用して実施しています。2月時点の情報では、予算が確保できれば継続するが、回数が今までは年2回だったのが、年1回になるかもとのことです。

委員

音楽コンサートの課題として、「コンサートを日曜日に開催したものの若壮年層の参加は無かった」と記載がありますが、若い人の参加は難しいですね。

委員

自分も音楽コンサートを生で聴いたことがないので、参加したいと思いつつ見送っていました。コンサート自体はTETTOでも度々開催していますが、会場までの移動の問題もありますので、公民館事業として地元でやられるということで、次回は私も生の演奏なり歌をぜひ聴きたいと思っています。

委員長

今年度の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、栗橋地区がモデル地区であったことは知りませんでした。

あたまの健康チェック相談会は、個人が相談する形ですか。

公民館長

百歳体操に参加している人で、やりたい人が百歳体操終了後に相談するという形です。

委員長

保健・健康関係事業の複数事業が今年度は実施できなかったようですが、理由はなんでしょうか。

公民館長

やる人がいなくなったという理由です。

委員長

コロナの影響もありますか。

公民館長

あると思います。一旦途絶えた事業は、なかなか再開するのが難しいようです。

委員長

史跡めぐり等研修会では、釜石図書館へ市の車両を利用して行ったようですが、どうでしたか。

公民館長

企画展に興味がある方にとっては、評判が良かったです。

この事業の裏にはもう一つ目的があり、栗橋には買い物へ行く車やバスがなくて困っている方が多いのでは、ということで、その需要を探ってみたいなということで、図書館で学習した帰りに、買い物をして帰ってくるという計画にしました。

実施してみたところ、参加者はショッピングを楽しむという印象ではなく、買いたい商品がはっきりしていて、それさえ買えば満足という感じでした。全体的な印象として、あまり買い物に困っていないように感じました。

委員長

買い物に困っていないということは、車を持っている家族がいるとか、生協の販売車を利用しているということですかね。

公民館長

高齢者の方は生協の注文票を書くのが大変だという声も聞こえてきましたので、住民の方からお聞きしたところ、橋野には同居していないご家族の方が、1、2週間に1回、橋野に食料を持ってきて、その帰りには、橋野で作られた野菜等を持ち帰っているそうです。また、宅急便でもご家族が手配した荷物が定期的に届いているそうです。こういう感じで、意外に成り立っているようでした。

委員長

なるほど、そういう訳ですか。少し話がそれますが、私は栗林で商売をやっているのですが、お客さんとお話をすると「今、橋野の実家に行ってきた」と話す方が多いです。

あと、別件ですが、栗橋公民館からニュースポーツの用具として、どんなものを貸し出し出来ますか？

公民館長

栗橋公民館には、ボッチャ、スカットボール、グランドゴルフがあります。

委員

そうなのですか、ボッチャが栗橋公民館にあるのですか。この前、栗小の1、2年生が高齢者の方達と一緒にボッチャをやらせて頂いて、楽しい競技だなと思ったのですが、道具が学校には無いし、どこに借りに行けばいいのかなと思っていました。

委員長

そうなのです。何で質問したかという、そういう道具が貸出可能というのが知られていない。みどり通信で周知してもらえれば、栗橋公民館に道具があるのであれば、やってみようと思う人たちが出てくると思います。

委員

そういう意味で、みどり通信は助かります。いろんな地元のお知らせが届きますので。

委員長

鶉住居公民館との合同事業の和山高原のわらび狩りは、鶉住居からは何人くらい来たのですか。

公民館長

参加者のほとんどが鶉住居住民でした。おそらく栗橋の住民は和山まで行かなくても地元でわらびが採れるので、和山まで行こうという発想にならないのかも知れません。

委員

餅つき大会については、年度当初に、やるかどうか確定しておらず、コロナの状況もみながら検討して、秋口になってから開催することが決まりました。コロナ禍で事業が中止する以前までは、栗橋公民館も関わっていたという経過に気が付かなくて、今年度は単独で実施しました。お父さん方が、前日に餅米をうるかすところから、当日の餅つきまで全てやりました。お父さん方の指導で子供たちにもつかせて下さりました。コロナ禍では出来なかった行事を復活することが出来て良かったなと思っています。お父さん方は本当に上手でした。

委員長

小さい頃から見たりやったりしながら育ったので、出来るのでしょうか。

委員

餅をつく時の、手合わせもお父さん方がやったのですか。

委員

はい、全部をお父さん方がやりました。

委員

味はどうでしたか。

委員

コロナ対策として、事業でついた餅は、その場では食べませんでした。前日についた餅をパックに詰めて配布し、家に持ち帰って食べることにしました。

委員

素晴らしい活動だと思います。栗林小学校以外で、こういう活動をしているところがありますか。

委員長

だいぶ昔の話ですが、郷土資料館へ「餅つきをしたいが、木臼がないか」という問い合わせをする学校はありました。

また、ラベンダー小物づくり事業には50名が参加したようですが、栗橋以外の参加者が多かったのですか。

公民館長

ほとんどが栗橋以外の住民でした。

委員

場所も、世界遺産の橋野鉄鉱山のすぐ近くで、良い事業だと思います。

公民館長

ランベダー畑は、橋野町振興協議会がお手入れをしており、面積も拡大しています。栗橋の観光名所に一つになれば良いなと考えています。

委員

私も観光ボランティアガイドの一員として橋野鉄鉱山で説明をすることがありますが、県内外から来たお客様が橋野鉄鉱山インフォメーションセンターで学習した後に、ラベンダー畑に立ち寄ってラベンダーを見たり匂いを嗅いだりして、喜んで帰っていきます。

委員長

南極講演会は、どうでしたか。

委員

まず、講師が橋野にゆかりある方だったことに対して、子ども達が興味津々でした。お話もスライドや映像を交えながら、普通では経験できないようなお話で好評でした。子ども達は特に北極の動物に喜んでいました。一般の地域住民もたくさん聞きに来られていました。

委員

地元ゆかりのある方が、そのように活躍しているということは、非常に喜ばしいです。

委員長

心肺蘇生法講習会は良い取り組みだと思うので、もっとやっても良いと思います。

他に何かありませんか。

無いようですので、令和5年度事業経過について了承とします。

続いて、令和6年度事業計画案について協議します。

公民館長

基本的に令和5年度に開催した事業を中心に実施しながら、加えて、コロナ禍で中止していた事業も出来れば復活したいと思っています。また、今日、委員から頂いたご意見を参考にしながら、令和6年度も公民館重点目標に沿った事業を計画したいと思っています。

委員長

一番の課題は、参加者の人集めだと思うのですが、いかがですか。

公民館長

その通りです。栗橋のみなさんは畑仕事があるので、なるべくそういう時期は避けて欲しい等と言われていています。

委員長

みんなで声を掛け合って、集まってくるようなネットワークが出来れば良いのでしょうか。

まちづくり課さん、これはどこの公民館でも同じ課題でしょうか。

まちづくり課

人集めというのは昔からどこの事業でも大変ではあります。

その中で、今回の事業経過報告書を見させて頂くと、コロナも収まってきた中で、中止した事業が多いのは何故かなという感じもしていましたが、先程言われました、畑仕事とか地区的な特性があるのかなと思いました。ただし、その前提も分かっている訳ですので、それを避けて最大公約数の日程を設定するとか、PRの仕方を公民館で検討していかなければならないと思います。また、住民へ声掛けをするにしても、固定した同じ住民にではなく、新しい顔ぶれの住民へ対して声掛けをすることが、地道で大変なことですが必要だと思います。

栗橋ではPTAとか学校の事業は盛んですが、それ以外が弱くなってきている印象があります。今年度実施できなかった「橋野ぴんしゃん組」は、大分昔から継続してきている事業ですので、それが中止になるというのは寂しいですので、ぜひ公民館長にはテコ入れをお願いしたいです。

委員長

今後、見直しすべき事業は、見直さなければならないと思います。

また、常駐の保健師スタッフも減少した訳ですから、それらも含めて計画しなければなら

ないと思います。

委員

人集めは、栗橋公民館だけでコマーシャルするのは大変ですので、我々、公民館運営審議委員も、地元の公民館事業に積極的に参加したり、住民への声掛けをしていけたらと思います。

委員長

どうぞお力添えをお願いします。

他に何かありませんか。

無いようですので、令和6年度事業計画案について了承とします。

続きまして、「その他」について何かありますか。

まちづくり課

先日、「教育振興運動」について開催し、栗林小学校から事例発表をして頂きました。先程、校長先生からも PTA からの協力をとても得られているというお話がありましたけれども、そこが他の学校と比較しても栗橋の特徴あるところなのかと思います。それは、地域の方々がそういう風土をつくってきたというところがあると思いますので、そういったところが今後の公民館活動に繋がっていけば良いと考えています。

委員長

ありがとうございます。

他にないようですので、以上で協議を終了します。